

臨床研究に関するご案内（オプトアウト）

当院では、PICU に入室した小児細気管支炎患者に対する呼吸管理方法について後方視的研究を行います。本研究は、従来の診療情報を用いた解析であり、新たな介入や検査を行うものではありません。

研究課題名

小児細気管支炎に対する非侵襲的呼吸補助戦略（腹臥位・鎮静・BiPAP）の有効性と安全性：単施設後方視研究

研究の目的

細気管支炎に対して当院で行っている管理によって、挿管を回避し安全に管理できている可能性を検討します。特に既報では PICU での bronchiolitis 挿管率は 10～15%とされますが、当院では低率であり、安全性も維持されていることを検証します。

研究対象

2014 年 1 月 1 日～2025 年 8 月 31 日に当院 PICU に入室した細気管支炎と診断された患者。RSV 陽性例については事前規定のサブグループとして検討します。

研究方法

電子カルテから診療記録を収集し、鎮静の深さを示す指標（SBS）、鎮静薬投与量、腹臥位実施時間、呼吸補助方法（「高流量酸素療法（HFNC）」「持続気道陽圧（CPAP）」「二相性気道陽圧（BiPAP）」）、入院中の挿管率（人工呼吸器使用率）などを解析します。患者さんに新たな負担はありません。

個人情報の取り扱い

個人を特定できない形に匿名化して取り扱い、研究成果は学会発表や学術誌で公表します。

研究への不同意について

本研究にご自身の情報が使用されることを望まれない場合は、下記連絡先までお知らせください。その場合も診療や今後の対応に不利益はありません。

問い合わせ先

松戸市立総合医療センター 小児科

担当：有松優行

電話：047-712-2511（病院代表）（平日：9 時 30 分～17 時 00 分）